

# 芦別高ラグビー部 北大会同点V 部員健闘 市長「まちの誇り」

荻原市長に全道高校ラグビー北選手権大会の優勝を報告する芦別高ラグビー部員ら



【芦別】全道高校ラグビー北選手権大会で他校と合同チームを組み出場、優勝した芦別高ラグビー部が15日、荻原貢市長に成果を報告した。大会は9月下旬に芦別

などで開催。芦別・羽幌・富良野の合同チームは決勝で遠軽と対戦し、ともに同点優勝となった。ただ、全国大会(花園)出場は抽選で遠軽に決まった。

部員10人と小形和律校長、松浦新監督らが市役所を訪れ、荻原市長に優勝カップや旗を披露した。松浦監督は「毎回、いい試合をやってくれて、子どもたちにとっても人生の財産になった」と振り返った。

小野晴也主将は「花園に行けず悔しい。合同チームのメンバーと全国でプレーしたかった」と話した。ほかの部員からは「チームで一つの方向に向かって団結した。人生でもなかなか味わえないよい経験だった」などの声が上がった。荻原市長は「正々堂々としたプレーで多くの市民に勇気や希望、感動を与えてくれた。芦別の誇りだ。自信を持って」と呼び掛けた。

(六戸透)